

1 2 月 麻 績 村 教 育 委 員 会 定 例 会 議 会 議 録

令和 6 年 12 月 3 日 (火)

午前 9 時 30 分～

地域交流センター第 3・4 研修室

出席委員 職務代理 小山正文 委員 高野羊子

委員 坂口曜子 委員 小松小百合

出席職員 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学校長 伊藤尊夫

筑北中学校長 臼井伸明 教育長 加瀬浩明

次長 宮下信俊 係長 臼井太津男 主任 高野智弘

一 開会(宮下教育次長)

令和 6 年 12 月の麻績村教育委員会定例会を始めます。よろしくお願いいたします。

二 教育長挨拶(加瀬教育長)

教 育 長: 皆さんこんにちは。だいぶ寒くなってきました。そんな中、定例会ということでお集まりをいただきましてありがとうございます。寒い時期であります。それぞれの施設等の管理をしっかりとお願いします。また、風邪やインフルエンザにも注意していただいて、それぞれ良い年末を迎えていただければと思っております。

それでは 12 月の定例教育委員会を始めさせていただきます。

三 報告

1) 教育長報告

宮下次長: 報告事項に移ります。教育長報告をお願いします。

教 育 長: 前回の定例会の時ちょうど通学合宿の最中でありました。最後まで無事に終了することができて良かったなと思います。学生も企画運営全般を担い本当によくやってくれました。私も初日に一緒に行わせていただきましたが、何の手出しをすることもなく、全てやっていただきました。逆に子供たちが本当によくやっていて、夜になったら大騒ぎするのではと、今までの修学旅行のイメージをしていました。しかし、そうではありませんでした。しっかり勉強し、規則正しい生活をしていました。いろいろご支援をいただきまして本当にありがとうございました。

小学校で夢先生の授業が行われました。陸上選手であった高橋萌木子

先生に来ていただきました。活動や講話をいただきました。子供たちは真剣なまなざしで話を聞いていました。挫折をしながら、自分の人生を切り開いてきたスポーツ選手で、子供たちも共感する部分もあったかと思います。自分に重ね合わせて考える非常に良い時間となりました。

28日に議員の皆さんと教育委員会事務局が、保育園にお招きいただいて、一緒に給食を食べました。議員の皆さんからは、感謝の声や「先生たち大変だよね」という声が聞こえました。議会議員の皆さんには、状況をよくわかっていただけたので良い会だったなと思います。

いよいよ12月議会が6日から始まります。一般質問で多くのことが出されていますので対応していきたいと思います。

12月になり、残すところあと1ヶ月になります。降雪あるいは凍結によるトラブルが心配な時期となりますので、それぞれ施設等確認をお願いします。

職員の皆さんには、年末年始どうしても飲酒の機会が増えます。再三となりますが、ご指導よろしくをお願いします。交通事故等のトラブルのないよう十分お気を付けください。

中学生はいよいよ進路が、本格的にスタートします。推薦に関してはある程度確定の時期に来ているかと思います。頑張るのは子供たちですが、希望する進路が叶うようにお力添えをお願いします。

年末年始を迎えます。教育委員会は12月28日土曜日から1月5日まで9日間の閉庁となります。もし、その期間に何かありましたら、私あるいは次長へ連絡をお願いします。その都度対応していきます。よろしくお願いいたします。少し早いのですが、皆さん良いお年をお迎えください。

12月は市町村教委の連絡会がありません。10月の終わりと11月の初めにあった前回のものを再掲してありますのでご確認ください。次回は1月9日に定例会があります。村の定例会が8日ですので、大事な事項等あればそれぞれ書面でお知らせしたいと思います。

12月の予定になります。7日に青少年育成村民運動推進大会というのがあります。人権の研修会も兼ねています。16日は小中合同の職員会議となります。今年3回目です。一貫教育の具体的な場として大事にしている部分であります。23日は、生活安全推進協議会と防犯協会役員合同会があります。ご承知おきください。

いずれにいたしましても、いよいよ寒い時期となりますので、管理等の面でよろしくをお願いします。教育委員会も閉庁となりますので併せてをお願いします。以上です。

宮下次長： 只今の報告についてご意見等ございましたらお願いします。続いて子育て支援コーディネーター報告に移ります。

2) 子育て支援コーディネーター・保育園長・学校長報告

高野CO：（以下、資料に沿って説明）。

宮下次長： それでは続いて保育園長報告に移ります。

塚原園長：（以下、資料に沿って説明）。

宮下次長： それでは続いて小学校長報告に移ります。

伊藤校長：（以下、資料に沿って説明）。

宮下次長： それでは続いて中学校長報告に移ります。

臼井校長：（以下、資料に沿って説明）。

宮下次長： それぞれからご報告いただきましたが、委員の皆様からご質問等あります。

小松委員： 小学校で視力検査があったということですが、タブレットを使うようになってその影響はどうですか。

臼井校長： 影響がないとは言い切れません。眼鏡をかけている子はいます。しかし、必ずしもタブレットが影響しているのか分かりません。適切に使うように指導しています。

四 報告・協議事項

（１） 12月定例議会：一般質問事項について 会議日程、一般質問通告事項

教育長： 12月議会が始まります。一般質問について教育委員会関係出ておりますので、事務局から説明をお願いします。

宮下次長： 6日開会で13日閉会の日程となります。10日火曜日に本会議一般質問となります。

教育委員会関係としましては、宮川議員から不登校児童、生徒、家庭への対応について質問をいただいています。こちらの質問への対応は、小中学校へ数字など具体的な状況及び資料をお願いしているところです。

飯森議員から中学校の部活動の質問をいただいています。現状をお伝えし、地域移行に関して教育長が県の会議に出席しているので、その内容を踏まえて回答していきたいと思います。また、方向性についても回答していきたいと思います。

塚原議員から行政現場の人員体制に関して、保育園での「子ども誰でも通園制度」や新たな福祉施設における職員や指導員などの体制について質問をいただいています。前回6月の議会でも同内容のご質問をいただいております。

宮下議員から学校教育の現状と今後について質問をいただいています。保小中の連携事業の現状、学校施設の維持更新の予定など広範囲にわたる具体的な質問となっています。各学校に資料等をお願いしているところです。コミュニティースクールについては、全体会を開いて進めていきたいと考えています。

一般質問事項について説明させていただきました。以上です。

教 育 長: 今説明がありましたが、ご質問お気づきの点がございましたらお願いします。

(2) 部活動地域移行の状況報告について

教 育 長: 長野県の地域スポーツ文化芸術活動推進連絡協議会が、開催されました。市町村関係で、私もこの会議に出させていただきます。地域移行に取り組んでいる市町村が出席することになっています。

まもなく学校に、地域クラブ活動に関する資料が届き、配布されることになっています。長野県としては令和8年度までに地域移行の予定で進めています。

この前の協議会では、予算的なことが全くはっきりしていない状況でした。そのため各市町村がなかなか動きづらい状況にあるということです。まだ正式なことは県からも出ていません。文科では基本的に、そのことに関して何か予算をつけるということは多分しないという方向のようであります。国の考えでは、受益者負担つまり参加する子供たちから会費を集めてやるとのことのようです。全国的あるいは全県的に見てもその方向のようです。上限が年間3,000円ぐらいを集めて、それを財源として活動していくということのようであります。

一番は財源の問題です。それから、我々の村のように小さな町村については、子供たちのニーズにこたえられる指導者がいない事が大きな問題です。そこで、県としては、指導者あるいは協力者に登録をさせていただいて、募集を始めるようであります。指導者、協力者の登録に関しては、自分の地域また地域を越えての指導者も含まれています。指導者リストが完成したところで、その情報が各市町村へ流れてきます。その中から市町村でお願いしたい人を選び、連絡を取りマッチングをして、指導者の確保に繋げていくことを初めることであります。

我々としては、筑北村と近い所でもありますので合同指導者も含めて進めているところであります。

例えば集団的なスポーツにおいて「合同にすることによって選手として出られなくなってしまう」というような子供の声もあります。地域移行といってもいろいろな課題がわかってきました。

筑北村と一緒に話を進め、決まったことの情報は子供たちあるいは保護者へ伝えなければなりません。早急に進めて行くところであります。

宮下次長： 筑北村の次長と話をする中で、村の社会体育担当が受け皿として担っていかなければならないかなという話をしました。筑北の谷の子供たちの数が減ってきています。その子供たちが地域で活動していけるように体制を構築していきたいと思っています。

臼井校長： 指導者について、競技性のイメージがついてしまうと集まらないかもしれません。例えばバスケのドリブルを教えたり、バレーのレシーブを教えたり、一緒になってやりませんかということなら、麻績の中でもゼロではないかもしれません。

競技のスキルアップを目指したい子がいるのであれば安曇野、明科のバスケや千曲の野球がやりたいと言えば繋げてあげればいいと思います。

体を動かして体力をつけるくらいの程度のものを作っていけばいいかなと思います。スポーツの楽しさを味わうことを目標にすれば、一緒にやってくる人が出るのではないかと思います。

音楽についていえば、聖南が一番人数多いのでそこへ一緒に参加させてもらい三校合同の方向で動いています。

教 育 長： 市町村ごとに状況が違うところがあるので、それぞれの市町村で手を加えて配布できないかと提案しました。麻績村だったら麻績村の状況に合わせた形で出せたらいいなと思っていますので、募集チラシのデータをいただくようお願いしています。ハードルを下げた形で出せたらいい

なと思います。

吹奏楽等に関していえば、先ほど校長先生が言われるとおりの形で進めるのが理想的かと思います。

臼井校長：部活のイメージが強いので、地域クラブぐらいにしたほうが良いと思います。

（３）東筑摩郡町村教育委員会連絡協議会の視察研修報告について

宮下次長：11月26日から一泊二日で石川県へ行ってまいりました。26日は加賀市立庄小学校の取組を視察しました。資料については、文科省から来た島谷新教育長の教育ヴィジョンになります。新しい教育長のもと取り組まれている新しい学び方、子供たちの授業の様子を見てきました。

児童がどのように学ぶかの視点で授業づくりを考えるようにしてきたという内容の話をうかがってきました。

学校研究では「進んで自分の学びを深め学びの楽しさを実感する子の育成」をテーマに、スタンダードスタイルとマイプラン学習の二つの学習スタイルを設けて取り組んだようです。

我々が見学したのはスタンダードスタイルの授業でした。先生の出番は導入の部分とまとめの部分になります。あとはチームごとに分かれた子供たちで課題解決に取り組みます。タブレット端末を使っていました。課題が解決すると端末を使って、提出BOXに送るようになります。

マイプラン学習ですが、単元内自由進度学習となります。東京学芸大の佐野亮子先生が推奨するものです。子供が試行錯誤しながら課題解決に取り組む経験を積ませたいという思いから取り組みを始めたお話をしてくれました。学習計画、進度、学習場所を子供が自己選択しました。この時間を楽しみしているという子供からの声があります。工夫点は二教科を組み合わせたところにあります。一教科だと子供たち同士で進み具合を比較してしまい、中には焦ってしまう子が出てきてしまうとのことから、二教科組み合わせているそうです。

学力調査の結果は、いつも県平均以下だったようです。令和6年度は県平均を大きく上回る結果となりました。SCTNは学校教育の成果を図るものですが、この調査の結果から子供たちは主体的に学んでいることが分かります。

その後場所を教育委員会に移して、島谷教育長と対談する時間を設けていただきました。印象的だった言葉は「お金で解決できるものは、お金をかけています」はっきり発言した点です。また、「不登校支援にもお金をかけています」ということでした。

小山職務代理: 加賀市は、長野県で言うと千曲市よりやや多い人口規模です。小学校 17 校、中学校が 6 校です。小規模校が多いということです。庄小学校は単級で支援級が 2 クラスあります。その中で 8 名の担任がいますが、内 6 名が 20 代であります。活気に満ち溢れた印象でした。

(4) 第三期子ども子育て支援事業計画について

臼井係長: 現在、第二期子ども子育て支援事業計画については、令和 6 年度までが第二期となります。第一期は平成 27 年度に始まりました。

5 年毎に計画を作っています。来年度から第三期となります。11 月 12 日に第 1 回の子ども子育て会議が行われました。そこで、第二期の計画の振り返りと第三期に向けてのアンケート調査の部分をお示しました。各学校に協力いただきまして、結果を回収しているところです。

次回 1 月 21 日に第 2 回の会議を開催して、その後基本案をまとめてパブリックコメント等の募集する中で、年度内に第三期の計画を進めていく状況になっております。

(5) 全国学力・学習状況調査の結果公表について

臼井係長: 全国学力・学習状況調査の結果公表については、毎年広報を通じて周知をしております。次回 1 月 31 日付けの広報に掲載されます。今回校長先生から簡単な説明をいただければと思います。

臼井校長: 国語は全国平均をやや下回り、数学はやや上回りました。12～3 名なのでこれをもって全国平均と比較するのはどうかと思います。それよりも大事だと思っているのは、朝食をしっかり食べているとか、多ければいいということでもないのですが、家庭学習時間が少ない傾向がみられるとかです。教員との関係は悪くないし、将来への夢や目標を持っているかについては肯定的な回答が多かったです。前向きに取り組んでいる傾向が見られました。

麻績村の子供たちには視野を広める活動とか、経験を積む活動とかそのような場をたくさん設定することが必要だと思っています。そこで、興味関心を持たせるようなことや、外に出て経験をするような働きかけを行うことが、学習の前に大事になってくると考えています。

伊藤校長: 国語と算数の学習の状況ですが、国語は平均より良かったです。国や県の平均よりも 10% 程度良かったです。細かいところを見ていきますと

読みの所が良かったです。タブレットを使っていて、書く力はどうかと思っていました。手を使って書くことは少ないですが、文章は書いているので力がついています。逆に算数は平均的でそれより 1% 下回る程度でした。個々で見るとバラつきがあるので、平均で見るのはどうか分かりません。それぞれ個々に対応していかなければなりません。

児童質問紙ですが、「自分に良いところがある」「先生に良さを認めてもらっている」「人が困っていれば助けるか」という質問については、ほとんど肯定的な回答でした。もう一つ特徴的なのは ICT の活用の質問についても「持ち帰りの状況」「学習での活用」「活用の仕方」に関する質問についても肯定的な回答が多かったです。一方で気になるところは、「ICT の使い方で、家庭での約束はありますか」について「ない」と回答しているのが多かったです。また、1 日の学習時間が 2 時間以上が 0 でした。

五 その他

1) 各委員から

教 育 長: 委員の皆様から何かございましたらお願いします。
よろしいでしょうか。

高野委員: 視察研修の報告について感じたことは、大きいところの課題と、小さい所の課題はそれぞれ違うと思います。此处で出来ることを力強く進めていくことが必要かと思います。また、市の考え方やトップの考え方に大きく左右されるのではないかと思います。保護者の方の協力、地域の方の協力など波に乗っていないと、こういうところには到達できないと思います。では私たちはどのように行動していけばいいのかなと考えているところです。

小山職務代理: 全国学力・学習状況調査の結果の報告がありましたが、私も振り返ってみて、カルチャーショックが一番受けたのは、中学から高校へ進学した時でした。今の子供たちは SNS などでは情報を得ています。しかし間違った方向で情報を収集すると危険もあるので、気を付けていかなければならないと思いました。スマホの利用の仕方にも考えていかなければならないと思いました。

2) 事務局から

教 育 長: 事務局より連絡事項をお願いします。よろしいでしょうか。

3) 次回予定

次回の定例教育委員会の日程 1月8日（水） 午前9：30～

六 閉会

教 育 長: 以上をもちまして12月の定例教育委員会を閉じます。